

事務事業	554901	姉妹・友好都市交流支援事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	554910 姉妹都市・友好交流都市との交流の推進	
区分	必要性	高い	効率性	高い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略
対象	姉妹・友好都市と交流する団体			

事務事業目的	市民主体による姉妹・友好交流都市との様々な分野の交流を促進します。
事務事業内容	姉妹・友好交流都市と文化、スポーツ、教育などの分野で交流する団体に対して補助金を交付します。
実施形態	補助
成果指標	市民団体の交流参加者数 令和元年度実績：68人
活動指標	（活動指標1）補助金を交付した団体数 令和元年度実績：2団体

事業コスト計算

事務事業費予算額	150,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.11 人
事務事業費決算額	82,000 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.11 人
予定値		確定値	
直接事業費	150,000 円	直接事業費	82,000 円
人件費	906,664 円	人件費	889,504 円
総額	1,056,664 円	総額	971,504 円

見直し実績	広報紙等で広く本事業を周知したものの、台風による交流中止があり、前年度より1団体少ない団体が、友好交流都市の新潟県津南町とスポーツとおした交流を実施することができた。	
事業評価	内部要因 外部要因	姉妹・友好交流都市と交流する団体を財政面等で支援することで、文化、スポーツ等の分野の団体を友好交流都市につなぐことができる。
	必要性	市民の自主的な交流の促進を図るために必要がある。
	効率性	補助等の割合は適正であり、事務の電子化や従事職員数の見直し等によるコスト削減の余地はない。
	方向性	市民の自主的な交流活動の支援に加え、オリンピックやさやま大茶会の開催を更なる交流事業の機会と捉え、引き続き継続する。

事務事業	554906	国際交流推進事業		
事業区分	事業区分	実施計画事業	施策体系	554920 地域での国際交流の推進
区分	必要性	高い	効率性	高い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略
対象	市民			

事務事業目的	姉妹・友好交流都市との交流を行い、市民の国際理解と国際感覚の醸成を図ります。
事務事業内容	狭山市国際交流協会と連携して、姉妹・友好交流都市との相互訪問事業や日本での生活をサポートする日本語教室など各種事業を実施し、国際交流の機会を提供します。
実施形態	補助
成果指標	交流事業参加人数 令和元年度実績：645人
活動指標	（活動指標1）姉妹・友好都市との交流事業件数 （活動指標2）地域における国際交流事業件数 令和元年度実績：姉妹・友好都市との交流事業件数2件、地域における国際交流事業件数11件

事業コスト計算

事務事業費予算額	3,687,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	1.01 人
事務事業費決算額	3,590,182 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.85 人
予定値		確定値	
直接事業費	3,687,000 円	直接事業費	3,590,182 円
人件費	8,324,828 円	人件費	6,873,443 円
総額	12,011,828 円	総額	10,463,625 円

見直し実績	姉妹都市ワージントン市一行と友好交流都市杭州市から茶文化研究会訪問団をさやま大茶会30回記念に招待し、受入れを行うことで、交流を深めた。	
事業評価	内部要因 外部要因	姉妹・友好交流都市の相互理解を深めることで、狭山市において今後、多文化共生社会を形成していく上で、交流の経験が生きてくる。
	必要性	行政間の交流を深めると共に、市民交流を一層推進し、相互理解と市民の国際感覚を高めるために必要である。
	効率性	実施主体は妥当であり、事務の電子化や従事職員数の見直し等によるコスト削減が図られた。
	方向性	狭山市国際交流協会を支援することで、市民主体の国際交流を促進し、一層の相互理解と友好親善を図り、市民の国際感覚の醸成につなげていく。